

農地集積のために貸手対策

被災地の意欲ある生産者支援と農地集積の交付金追加補正

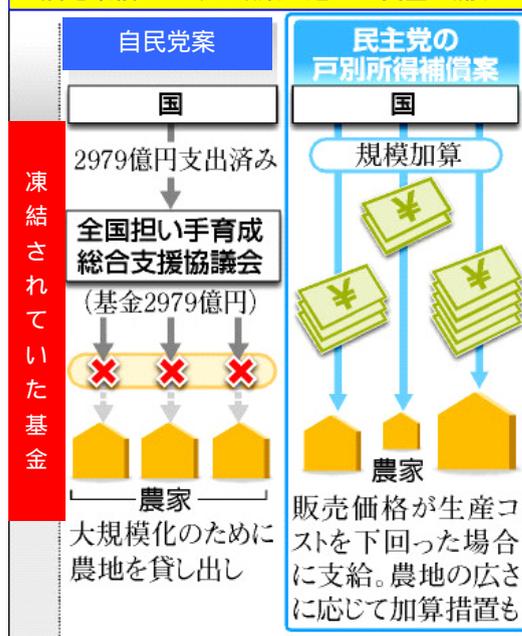
農水省は、東日本の被災地の高齢で後継者のいない農家などに交付金を支払い、意欲ある生産者（担い手農家）に農地が集積しやすいように農地の貸手（出し手）を支援する制度を新設に向け動き始めた。同じような交付金を2009年度に自民党が農地の出し手を支援する基金を作ったが、政権交代後に政策効果が疑わしいと2,000億円の予算が凍結され事業は1年で廃止された。今回、東日本の被災地の農家を対象に、今年度中に先行して導入する。（現在概算要求している状況で、10月末頃決定する見込み。）

自民党案は、農地を大規模化して効率的な農業経営を促すため、農地を貸し出した農家に対して最長5年間10アール当たり年額1万5千円を交付する。しかし、民主党は「農地の出し手ではなく、農業の担い手（意欲ある生産者）を支援すべきだ」と主張していた。

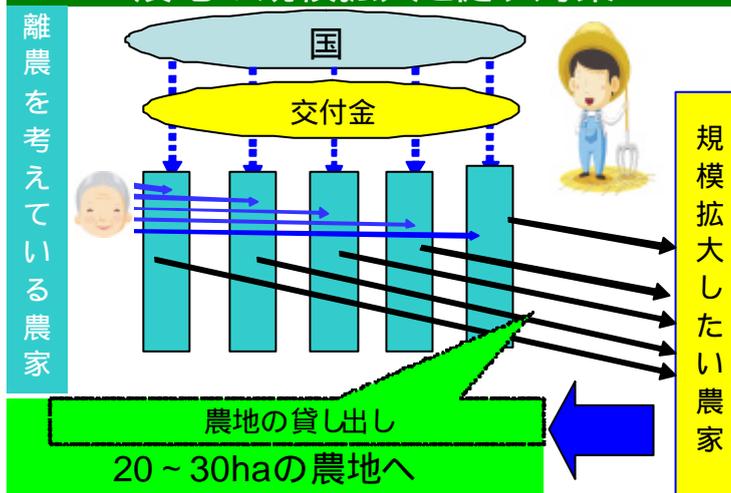
しかし、TPP（環太平洋経済連携協定）に踏み出せば、農業の効率化と農地の規模拡大が課題となる。特に水稻や小麦、大豆など土地利用型農業では農地の集積、規模拡大は必須である。鹿野農水大臣は9月6日のインタビューで『食と農林漁業の再生実現会議』の中間提言で出されたように、5年間で20～30ヘクタールの経営形態を築いていきたい。と語っている。

消費地に近い都市周辺の農家は、農地の転用益を期待し貸したがらない人も多く、なかなか効果は期待出来ないが、北海道や東北、特に今回被災し離農する農家を対象に、若者など意欲ある生産者（担い手）に農地を貸し出せば高い競争力のある産地育成が期待できる。

農地集積をめぐる政策の違いと資金の流れ



農地の規模拡大を促す対策



県民性ランキング

都道府県別統計と県民性ランキングが<http://todo-ran.com/t/allp>で見ることができます。次ページ下部に一部を抜粋した表を掲載しました。データは更新されていないものもありますが、それぞれのお国柄が表れて面白いです。1988年の年間自然放射線量の県別データを見ますと一位は岐阜県で1.19ミリシーベルト、二位が香川県1.18ミリシーベルト、福島県は20位1.04ミリシーベルトでした。

（次ページ下部表へ続く）

紫サツマイモの鮮やかな色彩は機能性がいっぱい

～ 抗酸化力は最大級

食欲の秋、収穫の秋、サツマイモが美味しい秋です。サツマイモの呼び方については、いろいろ説があるようですが、一般的に、サツマイモの名称は先方の原産地・経路を示しているようです。関東ではサツマイモと呼びますが、鹿児島や沖縄ではカライモ(唐いも)と呼びます。戦前まで鹿児島では琉球イモと呼んでいました。その後、沖縄・鹿児島では、「唐芋(とういも・からいも)」その他の地域では、「薩摩イモ」と呼ばれるようになったということです。

ところで、九州沖縄農業研究センターが最近サツマイモの中で、紫いもアントシアニンの優れた健康機能性について明らかにしています。

抗変異原性(発癌物質の作用を抑制する効果)

アンジオテンシン 変換酵素阻害活性(高血圧に有効)

抗酸化作用(老化や発癌、動脈硬化につながる活性酸素・フリーラジカル反応による生体の酸化的傷害を防御する作用)等の健康機能性が試験管レベルで次々と明らかにされています。



九州沖縄農業研究センターによると「抗酸化力」が世界でトップクラスである事が実証され、「抗酸化力」は老化や生活習慣病の予防、それに肝機能マーカー値や血圧を下げる事が証明されています。しかも「紫サツマイモ」の3種類、「アヤマラサキ」、「ムラサキマサリ」、「アケムラサキ」は、ORAC値()の上位10以内に入っています。アントシアニン色素を含むブルーベリーより高い値も示しています。()「ORAC」とは・・・活性酸素吸収能力

紫いも「アヤマラサキ」は、在来の山川紫に知覧紫を交配したものに、低糖多収のサツマヒカリを交配(昭和63年)し、選抜した品種(平成7年農林登録)で、甘みは少ないが、アントシアニン色素安定性がブドウの色素に比べ優れ、その含量が種子島紫の約8倍と素晴らしく高く、色素抽出用・加工原料用に適しています。「アヤマラサキ」は天然着色料、ジュース、パウダー、ペーストや紅酢などの原料として幅広く利用されています。「ムラサキマサリ」は色素、ペーストにも使われますが、焼酎原料としての利用が伸びています。「アケムラサキ」は今後、宮崎県を中心に色素用としての普及が期待されています。在来の紫いもに比べ収量性に優れ、宮崎、鹿児島を中心に契約栽培(約200ha)され、関東まで広がっています。(甘しょ育種研究室、流通利用研究室、畑作物変換利用研究室資料)

余談ですが、葉身と葉柄を食用とするサツマイモ品種「すいおう」も、良食味で収量が高く夏場の葉野菜として利用できる品種です。ビタミン、ミネラル、食物繊維など栄養価も高く、ルテイン、カフェ酸誘導体といった機能性成分も豊富です。イモにも色々ありますね。

ランキングで見る県民性

年間自然放射線量(*福島県は20位)	[1988年第一位 岐阜県]
中学男子剣道部員数	[2010年第一位 栃木県]
マクドナルド店舗数(10万人当)	[2011年第一位 滋賀県]
セブンイレブン店舗数(10万人当)	[2010年第一位 山梨県]
鉄道駅数(10万人当)	[2005年第一位 高知県]
プロ野球選手出身地	[2011年第一位 和歌山県]
甲子園勝率	[2011年第一位 沖縄県]
年間降水量	[2010年第一位 高知県]
Hクッキングヒーター普及率	[2009年第一位 岡山県]
ガソリン価格	[2011年第一位 長崎県]
ガソリンスタンド数(10万人当)	[2010年第一位 鹿児島県]
セルフ式ガソリンスタンド比率	[2010年第一位 神奈川県]
軽自動車普及率(2人以上の世帯)	[2009年第一位 和歌山県]
自動車登録台数(百人当)	[2008年第一位 長野県]
熱中症救急搬送者数	[2011年第一位 鳥取県]
コメ消費量	[2008年第一位 静岡県]
校内暴力発生件数	[2008年第一位 神奈川県]
不登校生徒数	[2010年第一位 神奈川県]
小学校減少率	[2010年第一位 青森県]
ふるさと自慢	[2010年第一位 沖縄県]
郷土愛	[2010年第一位 沖縄県]
戦後海外移住者数	[1994年第一位 沖縄県]
青年海外協力隊隊員数	[2009年第一位 鹿児島県]

【ご案内】来る10月14日(金)は弊社創立記念日の為、休業とさせていただきます。皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い申し上げます。尚、ご注文等はお早目にご連絡下さいませ、重ねてお願い申し上げます。

編集局長：小田原次洋 アシスタント：助川尚子

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp